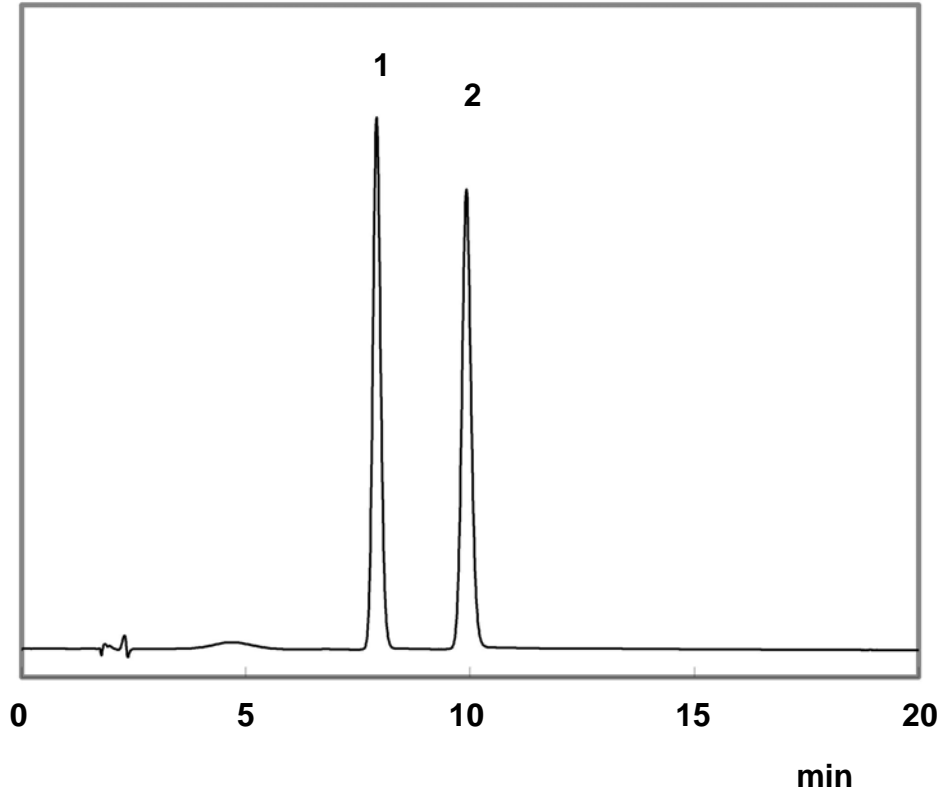




葛根湯エキスの成分定量法：システムの性能

—パオニフロリン—

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-80Ts 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 19 °C

Eluent: H₂O : CH₃CN : H₃PO₄
=850:150:1

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (232nm)

Injection vol.: 10 μ L

Concentration: 100 μ g/mL

Samples:

1: Albiflorin

2: Paeoniflorin

$R_s = 5.6$



葛根湯エキス —ペオニフロリン—

—第十六改正 日本薬局方より—

定量法……

(2) ペオニフロリン

試験条件

検出器：紫外吸光光度計（測定波長：232 nm）

カラム：内径 4.6 mm、長さ 15 cm のステンレス管に 5 μ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：20 °C付近の一定温度

移動相：水／アセトニトリル／リン酸混液(850:150:1)

流量：毎分 1.0 mL（ペオニフロリンの保持時間が約 9 分）



葛根湯エキス —ペオニフロリン—

—第十六改正 日本薬局方より—

定量法 ……

(2) ペニオフロリン

試験条件 ……

システムの適合性

システムの性能:

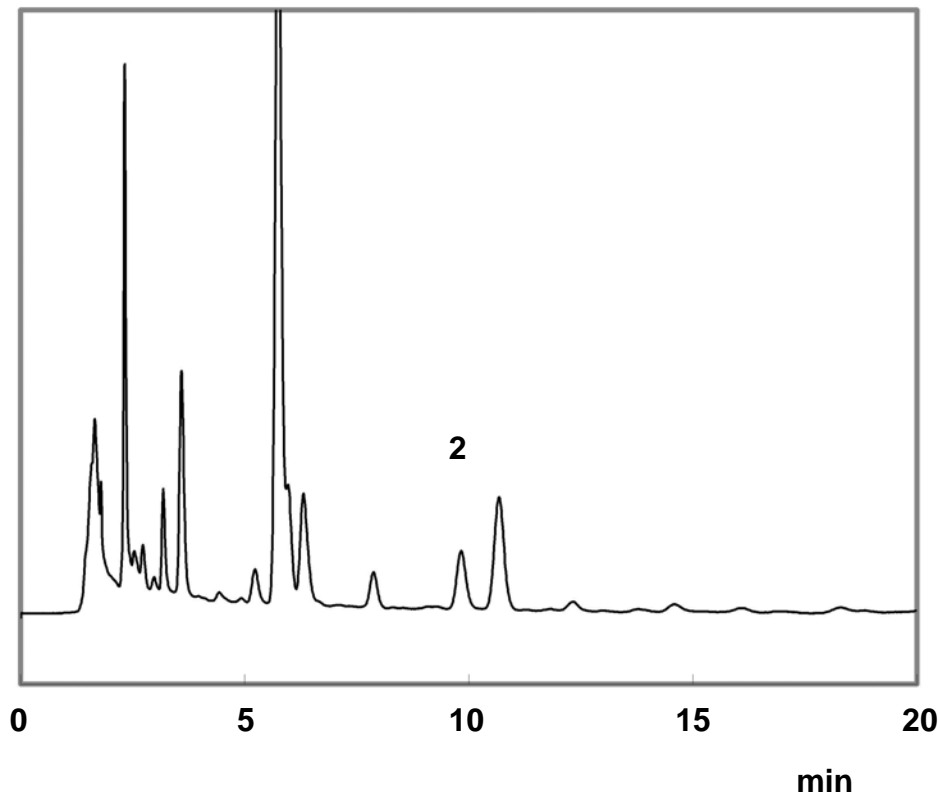
ペオニフロリン標準品及びアルビフロリン1 mgずつを薄めたメタノール(1→2)に溶かして10 mLとする。この液10 μ Lにつき、上記の条件で操作するとき、アルビフロリン、ペオニフロリンの順に溶出し、その分離度は2.5以上である。



葛根湯エキス顆粒の成分定量

—パオニフロリン—

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-80Ts 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 20 $^{\circ}$ C

Eluent: H₂O : CH₃CN : H₃PO₄
=850:150:1

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (232nm)

Injection vol.: 10 μ L

Sample: Kakkonto Extract Granules

Peak:

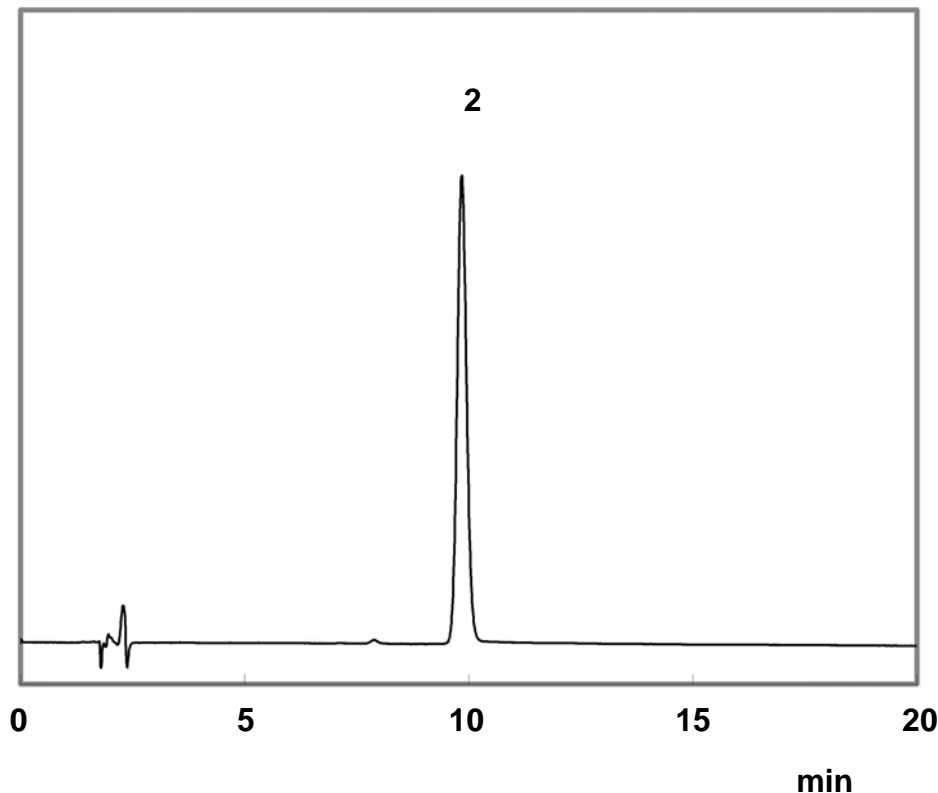
2: Paeoniflorin



葛根湯エキス顆粒の成分定量

—ペオニフロリン—

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-80Ts 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 20 $^{\circ}$ C

Eluent: H₂O : CH₃CN : H₃PO₄
=850:150:1

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (232nm)

Injection vol.: 10 μ L

Concentration: 25 μ g/mL

Sample:

2: Paeoniflorin